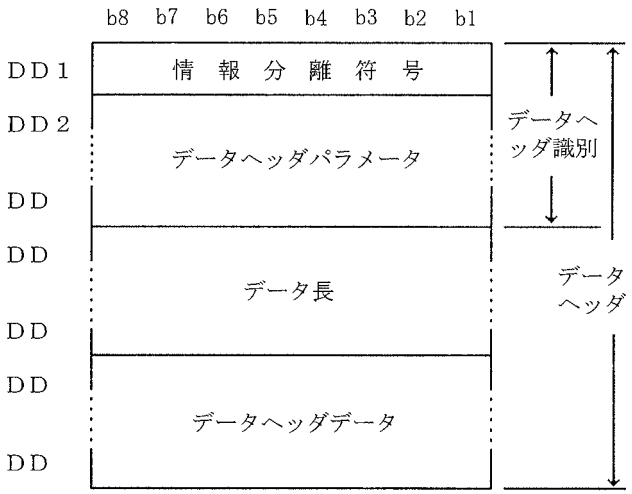
ア　データヘッダの構成は、次のとおりとする。

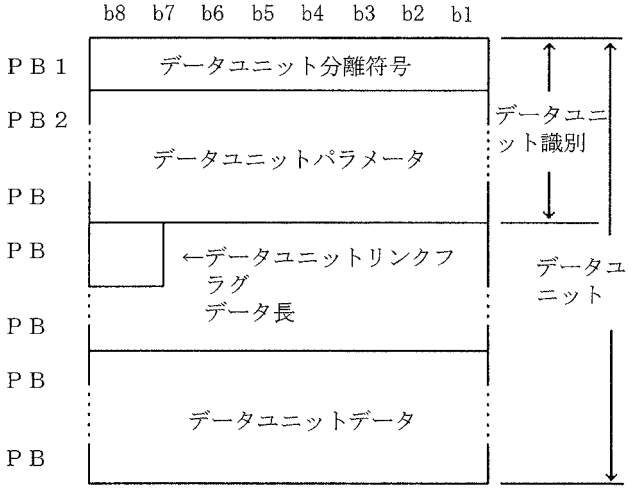


(ｱ)　情報分離符号は、01／14とする。

(ｲ)　データヘッダパラメータは、２バイト以上の可変長バイトとし、10／０～15／15の範囲の符号を中間符号、02／０～07／15の範囲の符号をパラメータが終了する場合の終端符号とする。ただし、データヘッダパラメータの最初の１バイトの値は、別記第一のとおりとする。

(ｳ)　データ長の構成は、別記第二のとおりとする。

イ　データユニットの構成は、次のとおりとする。



(ｱ)　ＰＢは、データユニット内のバイトを示し、送出順にＰＢ１、ＰＢ２、ＰＢ３、…とする。

(ｲ)　データユニット分離符号は、01／15とする。

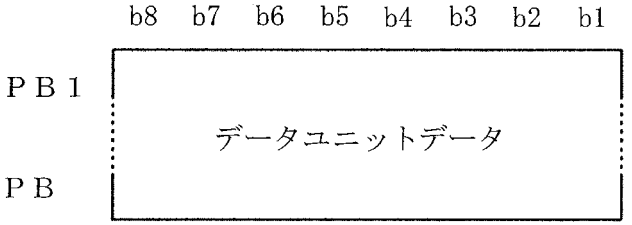
(ｳ)　データユニットパラメータは、２バイト以上の可変長バイトとし、10／０～15／15の範囲の符号を中間符号、02／０～07／15の範囲の符号をパラメータが終了する場合の終端符号とする。ただし、データユニットパラメータの最初の１バイトの値は、別記第三のとおりとする。

(ｴ)　データユニットリンクフラグは、次のデータユニットが継続データユニットである場合は“１”とし、その他の場合は“０”とする。

(ｵ)　データ長の構成は、別記第四のとおりとする。

(ｶ)　データユニットデータにおいて、複合データ信号のデータを送出する。

(2)　ＤＧ構成２の場合、データグループデータはデータユニットデータのみから成り、その構成は、次のとおりとする。



ア　ＰＢは、データユニット内のバイトを示し、送出順にＰＢ１、ＰＢ２、ＰＢ３、…とする。

イ　データユニットデータにおいて、複合データ信号のデータを送出する。

別記第一　データヘッダパラメータの最初の１バイトの値

最初の１バイトの値	内容	機能
10／0	番組	番組の識別番号等を送出する。
10／1	ページ	ページの識別番号等を送出する。
10／2	番組索引	番組索引の識別番号等を送出する。
10／3	継続	先行して送出したデータに継続するデータの識別番号等を送出する。
10／4	実時間番組（データクラスタ）	実時間番組（データクラスタ）データの識別番号等を送出する。
10／8	リンク	リンク情報の識別番号等を送出する。
10／9	番組共通マクロ	番組共通マクロの識別信号等を送出する。